

目次

(赤字の小見出しは重要文章)

日中両国の末永い友好互惠関係をめざして 村山富市元首相

前書き

北京日本学研究中心主任 徐一平

第1章 3・11 東日本大震災

- ①私の3・11、②津波に飲み込まれる瞬間、③携帯電話に救われる、④生死の分かれ目、⑤学校の行方、⑥恐ろしい津波

第2章 救援最前線

- ①中国研修生の命の恩人佐藤充専務、②最後まで職務を全うする警察と消防隊員、③変わりつつある自衛隊のイメージ、④個人年金で避難所を築きつづける日本の「愚公」、⑤遺体処理 ⑥大地震に試される日本の医療体制 ⑦改善される津波警告システム

第3章 避難生活

- ①避難所を訪ねる ②「核」恐怖におびえる福島の学校、③天災に見舞われたペット達、④家庭「主夫」をつなぐ絆、⑤「思い出倉庫」からの光 ⑥非常事態下の手作り新聞 ⑦県知事出身の教師 ⑧沖縄に赴く子連れ母 ⑨仮設住宅の実態

第4章 「核」がやってきた

- ①デモ隊の「牛」大将 ②村八分にできない「核」一族 ③個室事務所のない理事長 ④特別非難区域指定 ⑤独自の放射能測定 ⑥捨てきれない放射能汚染物 ⑦40年も原発反対を唱えつづけた大学教授 ⑧アメリカに負けた日本のロボット

第5章 四方八方からの援助

- ①心をついに結ばれた島国の民 ②海外から前例のない大規模援助 ③巨額カンパを出す民間企業

第6章 混迷をつづける政局

- ①国会は政党間の決戦場 ②菅直人首相を叱責する福島オヤジ ③民意を侮るな ④県知事の持つ権力 ⑤地方分権の日本社会 ⑥9日間で首が飛ぶ大臣 ⑦短命の首相と安定の日本社会 ⑧野田首相が就任直後に拝む神様 ⑨7度も避難所に足を運ぶ天皇・皇后陛下

第7章 信頼できるマスコミ

- ①銃声が聞こえない戦場 ②日本マスコミの信頼度 ③国民に利する政党間紛争 ④絆のネット作りに励むテレビ局 ⑤マスコミ業界からの叫び

第8章 大和魂

- ①復興にむけて（1, 遺失物の返還 2, 津波に飲み込まれた天使の声 3, 自覚的に節電に協力する日本国民 4, 未来の海浜都市 5, 果てしないゴミ処理の道のり）②復興活動に生まれる革新技术

第9章 国際関係

- ①中日関係（1, 私と福島県の因縁 2, 幅広く根付いた中日友好の土壌 3, 主要マスコミの歴史認識 4, 日本の戦争賠償と対中国政府援助 ODA 5, 対中友好交流団体の長期的な協力活動 6, 歴史教科書と右翼の実態 7, 日本鬼子（日本兵の蔑称）がまた村にやってきたか 8, 菅直人首相の礼状 9, 塩買占めに中国国民を走らせた放射線 10, 日本に進出する中国スタイル）
- ②日米関係（1, 不倶戴天の敵関係の歴史 2, 日米同盟関係を強化した救済活動）
- ③スペイン（フクシマの英雄たちに贈られた2011年スペイン皇太子賞）

第10章 日本世間像の数々

- ①著しい女性の活躍 ②跡を継ぐ住職の息子 ③わいろを取らない医師 ④世界競争力が下がったか ⑤東京の買占めに加わった私 ⑥日本人の土下座、お辞儀と微笑み ⑦日本の死刑 ⑧新幹線のスピードが遅いのか ⑨引退辞職と清廉システム ⑩医師看護師の不足時代 ⑪男性トイレに闖入する大和撫子